

すぎのこ

160

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2020 10/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 映画研修センター：〒350-1315 埼玉県奥州市北入曽695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
 施設研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡嬪恋村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 巡回公演日より／園からの声／オンライン人形劇ミニフェスティバル
 4面 日本芸術文化振興会助成事業／稲盛財団より支援金を受領／JKA補助事業／制作日より ほか

http://www.suginoko.org/

E-mail: support@suginoko.org

「モノ消費」から「コト消費」 そして「ヒト消費」の時代に

理事長 大場 隆志

コロナ禍が長期化し、収束の糸口が見えない中でコロナ禍における私たちの生活も大きく変化したと思います。

仕事でもマスクの着用、手洗い、消毒の徹底、そして三密を避けるためのテレワークやZoom会議など、環境は大きく変わりました。

長期的に見れば人類は幾度もの危機に遭遇しながら、その都度危機を乗り越え、今日まで歩んできました。つまり、現在の状況は必ず克服されることを歴史は教えてくれているとも言えます。そのため大切なものは何か。

コロナウイルスは身体に忍び込み、身体を蝕みますが、同時に心に忍び込み、困難に耐え努力しようとする心を蝕むウイルスのようです。だから、心の免疫力を高めなければならぬと思います。そのワクチンは、よき言葉、よき教えを聞き人格を高めることではないでしょうか。

サービス産業業界は、長らく「モノ消費」から「コト消費」へと流れが変わっているという説に基づいて、商品やサービスを提供してきました。しかしアフターコロナにおけるニューノーマルの時代になると、「コト消費」から「ヒト消費」へと変化しつつあるようです。

昭和の時代から続いた常識は、コロナ禍を経て令和時代に大きく変化し、さらに価値観は変わり、多様化していくことになるでしょう。働くという価値観も「従属性」「反応性」から「主体性」「独自性」が求められる社会に変化していくことになると思います。

ゲームやアプリに課金したり、映画を見て、食事をして、タキシードに乗るといった一連の行動は、一見「コト消費」のように見えますが、楽しいゲームだからというわけでもなく、見たい映画だから見に行くわけではなく、美味しいから食べに行くわけではなく、楽しいからタキシードに乗るわけでもないということなのです。

そこにいる人と一緒にいることができ、その体験が共通の話題となり、記憶に残る思い出となる。実はそれは「ヒト消費」であると考えられます。

経済評論家の話を聞いていると、グローバル化とローカル化の二極化、質と量の二極化が同時に進むなどと言われていますが、「ヒト消費」がキーワードになることは間違いないさそうです。

昭和の時代から続いた常識は、コロナ禍を経て令和時代に大きく変化し、さらに価値観は変わり、多様化していくことになるでしょう。働くという価値観も「従属性」「反応性」から「主体性」「独自性」が求められる社会に変化していくことになると思います。

昭和の時代では特別な人だけが伝説を作っていました。令和の時代は、仕事を通じて皆がそれぞれの伝説を作る時代になると思います。

昭和時代の高度経済成長期の日本人は、「サラリーマン」という言葉に潜むある種の「従属性」の中で企業の一員として仕事をし、終身雇用、年功序列といった環境が当たり前でした。令和の時代は、人はもっと自由に行動して、自らが役立てる場所を探すようになり、多様な価値観で、自分の幸せを追い求めるようになるでしょう。そして他人や社会を意識して理解し、その中で社会に貢献しながら生きていこうとする時代に変化していくと考えられます。

昭和の時代では特別な人だけが伝説を作っていました。令和の時代は、仕事を通じて皆がそれぞれの伝説を作る時代になると思います。

ある先達の言葉で、仕えてその道を能くする、これを達と言うという言葉があります。一つのこと

仕えてその道の熟達者になる、そういう人を達人と言う。その道の達人になる人は皆、自分を磨き続けた人です。自分を磨かずして達人にはなり得ない。

それは特別な人、自分とは関係ない、と思う人もいるかもしれませんが、本当にそうでしょうか。

人は皆、自分の人生の経営者です。自分の人生の経営を他の人に代わってもらうことはできません。自分の人生は自分が経営するしかない。即ち、人は皆、自分の人生のオーナー経営者なのであるということです。

経営はそのトップの器によってすべてが決まります。自分の人生は自分の器によって決まります。だから、私たちが自分という人間を磨き続けなければならない所であると思います。

では、どうすれば自分を磨けるのか。その第一は古今の師に学ぶ

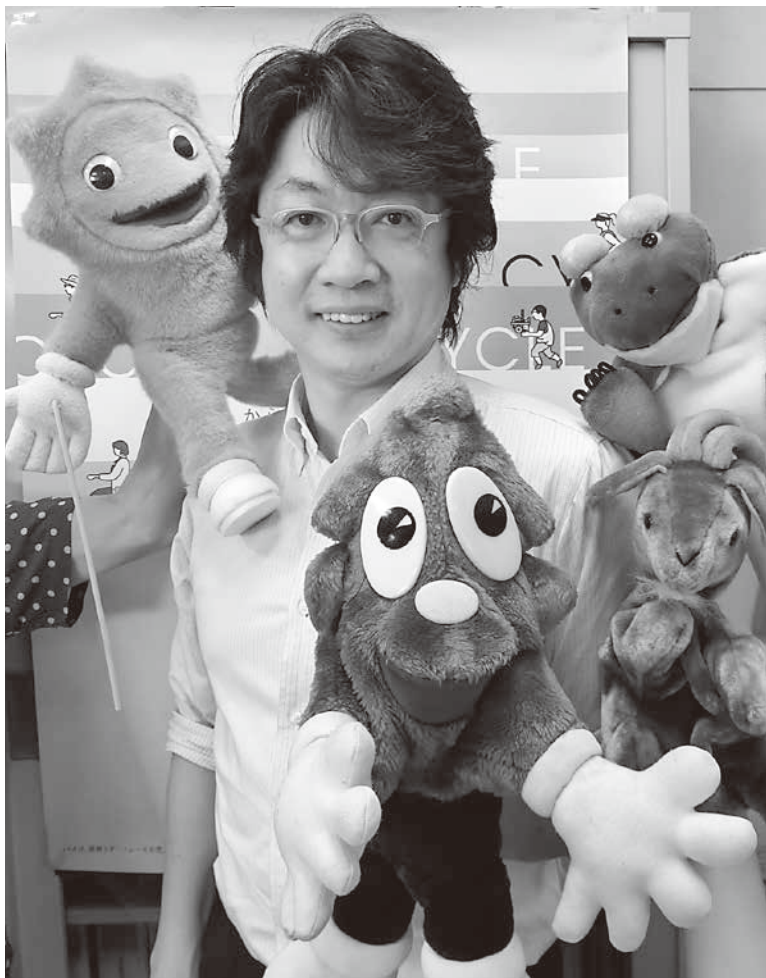
ことです。

「人の磨るところはその習うところによる。習うところはその志すところによる。義に志すか利に志すかによって、ついに君子となり、小人となる」と安岡正篤師は、いかに生くべきかを東洋倫理概論の中で述べています。

松下幸之助氏が新入社員に言った名言があります。

「君らの立場は新入社員や。しかし、意識は社長になれ」

同じ新入社員でも、自分は新入社員と思っている人と自分は社長と思っている人とは、仕事の仕方や結果には雲泥の差が出てくる。意識が人格涵養に、そして人生に及ぼす影響はとても大きいということであり、ある意味で松下幸之助氏は、将来において「主体性」「独自性」が求められる社会に変化していくことを予測していたのかもしれない。



巡回公演だより

はだかの王様 班

横山 美歩

7月に2週間ほどですが、北海道で巡回公演を行いました。

感染症がそれほど流行っていない地域で主に行いましたが、この状況下にこれほど人形劇ができることは非常にありがたいことです。ニュースで、他県から人が来ることを快く思わない方もいると知って心配でしたが、特にそういったこともなく、感染症対策も行って、問題もなく巡回公演を終えられたように思います。本公演が成り立ったのは、先生や保護者様のご理解のお陰だと思っています。本当にありがとうございます。

まだ感染症問題は続いていきます。『娯楽』はもしかしたら



不要不急なのかもしれませんが。何もできませんが、変わらず楽しいことをたくさん子どもたちに届け続けます。

「はだかの王様」は明るくて華やかで、みんなで楽しめるお話です。窮屈な世の中ですが、人形劇が、自由に思い思いに楽しんで観てもらえる場になればいいなと思っています。これからも感染に気を付けながら、人形劇を届けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

おむすびころりん 班

小杉 正繁

都心は7月ギリギリまで梅雨空

でした。

8月中旬頃からは、大勢の感染者が連日発表されています。コロナウイルスが公表されてからと言うものの、自粛期間中は、すぎのこの内定期的に行っている部会を開いています。そこでは、各班の稽古スケジュールやコロナ禍の中で私たちは何をしなければならぬか、また、作品の一部をユーチューブにアップしたりオンライン公演や有料ライブ配信についてなど、様々な意見が出され検討しています。

新作「おむすびころりん」は、一時自粛解除期間中に1週間弱の公演のみ。三密を避け稽古と自宅待機の繰り返し。おばあさんの作



園から 声の

ったおむすびを持って山へひと仕事に行くおじいさん、二人のことが気になる隣のおじいさん、もうすぐ赤ちゃんが生まれるねずみの一家、おむすびがころころころころお話が進んでいきます。マスクを外した、元気なみんなの笑顔に会える日を励みに、これからも私たちは前に進んで行きます。

三まいのおふだ 班

榎本 均

本棚には一冊の画集と、子どもが描いた一枚の絵が飾ってある。

去年の秋、大学時代一緒に美術を専攻した古き友から、前触れもなく突然送られてきた一冊の画集。長野で教員を務めながら40年来描き続けた絵の数々、山、木、町の風景。寡黙な彼の言葉がとつとつと聞こえてくる。定年を迎え、時間ができたと言っていた。いつか近いうちに会って話そうと約束した。いつか、きっと。

画集の上には、二年前、上演した園の子どもが描いた「三まいのおふだ」の絵。やまなばや小坊主

の特徴をとらえて、「うつ」と驚嘆する。まだ語彙が少ないのに、おもしろさの的を射ている。上演後に手渡された絵。あの時の少しはにかんだ笑顔を思い出す。ふだん、園で接している先生でなくても、その瞬間、なにか子どもたちの成長を感じられた。また近いうち、やまなばや小坊主が動く姿を見たい。いつか、きっと。

一冊の画集、友の人生の言葉の絵。

一枚の子どもの絵、成長する力の言葉の絵。

そんな絵が僕らをつないでいる。誰でも

このつきなかに

■細呂木こども園(福岡県あわら市) 人形劇で、あそこまで細かい演技、舞台セットを見せていただき、さらに子どもたちの笑顔を見て、明日からの保育に力をもらったように思います。頑張っている仲間がいるのがうれしいです。

おむすびころりん

■あけぼの保育園(福岡県福岡市) 劇の内容がわかりやすく、歌や



も、そして子どもが手に取れる人形劇という絵本、いつでも子どもたちに観てもらえるように、今は、そっとしまっておきたい。

ふりを一緒に参加して楽しめたのでよかったです。

簡単な手遊びだったので子どもたちもすぐに覚え、楽しく参加できました。

また、昔話をアレンジしているので、新しい面を観られてよかったです。

場面展開も、子どもたちは興味をもって楽しんでいました。

子どもたちは部屋に帰っても歌っていました。

このつぎなあとに班

長谷川 唯

「僕は子どもの時に誰かからバトンを貰ったんです。そのバトンをそのまま渡すんじゃないで、自分の身体の中を一度通して、それを次の子どもたちに渡すんだ」

宮崎駿さんの言葉である。

私は子どもの頃からアニメを観て育ってきた。アニメからあらゆる感情を教わり、人格形成の礎になったと言っても過言ではない。その自分が支えられてきたものを創ったのは大人だ。子どものために創られた作品は、大人の中にある子ども心を解放させたものなのだと思う。

自分が子どもの頃に観ていた番組を懐かしく思い、見返す時がある。子ども向けのはずなのに、当時感じていた面白さは色あせる



ことなく、むしろ、違う視点で楽しめたりする。

「真に子どものためのものは、大人の鑑賞に充分堪えうるものである」駿さんの言葉が自分の中に強く残る。感情の源は子どもの心なのだ。

コロナ収束のめどがつかず、厳しい状況が続いている。このピンチをチャンスに変え、すぎのこ人形劇を進展させたい。今を生きる、これからを生きる子どもたちにバトンを渡すために。



「オンライン人形劇ミニフェスティバル」参加

残暑の厳しい8月23日(日)初めて、オンラインで人形劇を行いました。

きっかけは、以前、すぎのこに在籍し、現在は石川県能美市で「にんぎょうげきやさん」という名前前で、人形劇や影絵をしている鳥毛こずえさんから「オンラインで、リレー形式で人形劇をやるので、どうですか」と声をかけていただいたからです。

さて、リハーサルの日がやってきました。何とか、ズームでパソコンに映ったものの、普段は、子

どもたちの目の前で演じているものから、これが、なかなか大変。反応がない、人形が画面からはみ出る、視線をどこに合わせたらいのか、など。

そして、当日。何とか、もぐもぐ劇場のレパートリー「犬の話」を演じることができました。今回の「オンラ



(下村 あきら)

イン人形劇ミニフェスティバル」を主催した、金沢市の人形劇団ステージアウラの皆様ありがとうございました。そして、福岡県から参加の「おはなしはらっぱ」、さらに「にんぎょうげきやさん」お疲れ様でした。

三まいのおふだ

■平和保育所(千葉県市川市)

最初は、「山姥が怖い」と、年長組の女の子でも少し怖がっていましたが、怖がらせ過ぎない配慮や工夫がたくさんされており、2才児でも泣かずに楽しめました。

特に、山姥と小僧さんの追いかけて遊ぶ楽しかったようで、終わった後も、「楽しかったー!」と喜んでいました。

■太田保育園(埼玉県行田市)

子どもたちが怖がらず、楽し

で観ていたのでよかった。

怖い内容だったが、コミカルに演じていたので、小さい子も泣かずによく観ていた。

子どもへの呼びかけも多かったので楽しんでいた。

はだかの王様

■網走若葉幼稚園(北海道網走市)

今回は、コロナ対策などにも配慮していただき、感謝申し上げます。

園児も知っているお話だったこともあり、セットが変わる場面も

「次はどうなるんだろう」と人形劇の世界へ入り込んでいました。楽しく観させていただきました。

■わかば愛育園(北海道豊富町)

コロナのなか来園していただき、細部にわたる消毒等(終了後も)感染予防にも務めていただき、ありがとうございます。子どもたちも作品を振り返り、「ちゃんと裸で教えてあげないとだめだね」などと話していました。



賛助会員を募集しています!

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円	以上
団体	年額	10,000円	以上
- (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能制提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

独立行政法人 日本芸術文化振興会 助成事業



「おもむきころりん」全国巡回公演は、独立行政法人日本芸術文化振興会「令和2年度芸術文化振興基金」の助成事業として、今年度5月より巡回公演を開始する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により多くの公演予定が中止となり、一学期期

間中に上演が実現したのは3公演のみでした。

ナマの人形劇を届けるという理念を掲げて長い間活動してきた私共にとって、このような人と人との対面することが困難になるというコロナ禍の現状は、それこそ想定外のものでした。感染症の収束が見込めない中、想いを込めて製作した「おもむきころりん」を皆様のもとに届けるためには、どうすればよいのか。新たな生活様式とともに新たな公演形態を試行錯誤しながらも、作品を届けるために様々な可能性を検討していますので、ぜひ例年同様、人形劇に触れる機会をご検討いただければ幸いです。



巡回情報や最新の取り組みなどについては、お気軽にお問い合わせください。また、すぎのこホームページにも情報を掲載しておりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

公益財団法人稲盛財団より支援金を受理

公益財団法人稲盛財団より「稲盛財団文化芸術支援プログラム」に於いて、ご支援金をいただきました。

すぎのこの活動にご理解いただきご協力いただいたご厚意に、職員一同、深く感謝しております。

今後も文化芸術の発展を目指して、

活動を続けてまいる所存でございます。支援金を賜りました公益財団法人稲盛財団様には心より御礼申し上げます。



公益財団法人 JKA補助事業



能性を模索し、どうか皆さまのもとにお届けしたいと思っています。

価値観や世の中の状況が目まぐるしく変わる中で、子どもたちが自立し、他者と協力し合って、より豊かな人生を送る手助けができるよう、「演育」を通してお手伝いをしていきたいと願っております。

公益財団法人JKAより補助を受け、表現力やコミュニケーション力を育む「演育」を広めるために、えんちゃん・いくちゃん人形やCD・DVD等の演育教材を作成いたしました。歌をうたったり、踊ったりして楽しみながらできる内容を目指しています。

今年の9月より、演育サブプレート「あえいおうた」の上演を開始いたしました。新型コロナウイルス流行の影響により、相次いで公演自体が中止となっております。

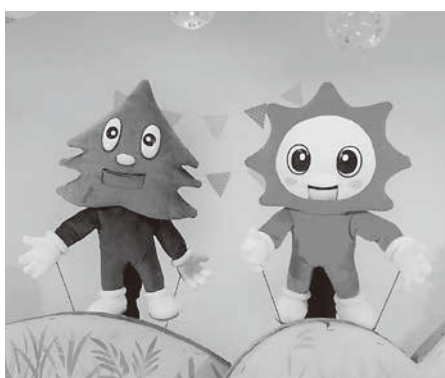
しかし、ここで立ち止まることなく、本事業においても色々な可



天高く、馬肥ゆる秋です。

本来ならば、春から入園した子どもたちも園生活になれ、運動会や遠足などの行事が目白押しな季節です。過ぎしやすく、食べ物もおいしく、子どもたちの成長が強く感じられる時期でもあります。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、保育園・幼稚園でも行事を縮小、中止が余儀なくされているとお聞かします。感染状況により、保護者の入室もお断りしている、県外からはどの種の業者も招いていない、というお話もうかが



事務局 だより



婦恋研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」があります。

この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や演劇等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。

合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の

います。子どもたちの命を守る立場にいらつしやる先生方のお話をお聞きするにつけ、歯がゆい思いです。

すぎのこの一学期の巡回公演は、自粛期間が終了した直後のわずかの間でしたが、実施することができました。受け入れていただいた園の皆様、ありがとうございました。

今後、状況をみて、感染防止対策を取りながら、公演は行っていく予定です。観劇会をご検討される際は、ご連絡いただけると嬉しいですよ。

旗揚げ以来55年間、毎年1000回以上の公演を実施できていたのは、当たり前なことではなかった、そんな当たり前の中に、いま気づかされています。

活動記録(令和2年6月~8月)

- 6/24 第一期全国巡回公演開始
- 7/30 第一期全国巡回公演終了
- 8/23 オンライン人形劇ミニフェスティバル参加「犬の話」

各種SNSのご紹介

イベント情報や公演の写真などをお届けしています。

チャンネル登録&フォロー、お待ちしております。

Instagram劇団: @puppet_suginoko

巡回班: @suginoko_junkai

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCJ3Ra-N-A2o1vJk4nZkaVRw>

次世代のために、動画などのコンテンツも、残していかなければならないと思います。しかし、子どもたちと同じ空間で、人形劇を通して同じ体験をしていくという生の舞台のすばらしさにかなうものはないとも思っています。

上演前の準備をのぞいてはしゃぐ子、上演中の笑い声、終わった後に人形とハイタッチ、巡回車にいつまでも手をふる子、そんな姿に会える日を楽しみにしています。

(榎本 千里)



婦恋研修センター

活動には使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト(シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設)や雨天でもバーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック広場等が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ

E-mail: support@suginoko.org

または03-3984-2396

(事務局)